

令和 7 年度 主要施策の概要

令和 7 年 4 月
兵庫県神戸県民センター



令和7年度神戸県民センター主要施策

山と海に囲まれたみなとまち神戸に息づく歴史や文化、美しい自然、農産物など、神戸の多彩な地域資源を活かし、5つの取組方針を軸とした施策を展開することにより、「人が集い、ともに繋がり、みんなで希望を叶えるまち」を目指します。

Ⅰ 神戸が育む地域資源を生かした交流の拡大		34,573千円
1	アートとふれあうまちづくり	03
2	歴史遺産を生かした賑わいづくり	07
Ⅱ 山海の自然に囲まれたみなとまち神戸の活力づくり		25,285千円
1	自然と共生するまちづくり	16
2	活力を生むまちづくり	23
Ⅲ 都市近接の強みを活かした農都・神戸の推進		9,316千円
1	農の神戸ブランドの創出	29
2	未来につながる地域農業の持続・発展	31
Ⅳ 安全・安心に包まれたまちづくり		3,990千円
1	災害に強い安全・安心なまちづくり	38
2	くらしの安全・安心の確保	48
Ⅴ 対話と協働に基づく住み続けたい地域づくり		11,526千円
1	対話と協働による地域づくり	51
2	地域づくり・生活創造の推進	54



I 神戸が育む地域資源を生かした交流の拡大

1 アートとふれあうまちづくり

- (1) 「ジャズの街 神戸」の推進
- (2) ミュージアムロード連絡調整会議の設置等
- (3) 神戸新開地・喜楽館を核とした地域の賑わい創出

2 歴史遺産を生かした賑わいづくり

- (1) 日本遺産の利活用
- (2) 摩耶山の治山遺構と観光振興
- (3) 未来へ繋ぐ『こうべ水の恵み』～淡山疏水の偉業を伝える～
- (4) 「湊川新開地」誕生120周年記念事業の開催
- (5) 次代につなぐ湊川隧道の利活用
 - ・ 湊川隧道の保存・活用事業
 - ・ 地元企業・地域団体と連携した湊川隧道の保存・活用事業
- (6) 明治期の神戸三大土木事業・歴史遺産の魅力発信事業



【ヤノベケンジ《Sun Sister》2015年】
(令和6年11月補修工事完了)



烏原貯水池・立ヶ畑堰堤



アートとふれあうまちづくり

(1)「ジャズの街 神戸」の推進 (7,180千円)

市内の観光スポットなど神戸ならではの特色あるエリアでジャズイベントを開催し、「ジャズの街 神戸」のさらなる浸透を図る。

① ジャズイベント等の実施

ア 兵庫津JAZZ LIVE [3,680千円]

兵庫津ミュージアム周辺の地域資源を活かした賑わいづくりを進めるため、プロ及びアマチュアバンド演奏のステージイベントを実施

- ・主 催：県庁発祥の地再発見事業実行委員会
- ・開 催 日：令和7年10月頃（予定）＊運河祭と同時開催
- ・場 所：兵庫津周辺
- ・R6参加者：約1,100人

イ 1 DAY JAZZ ROAD [3,000千円]

ミュージアムロード周辺を活用し、ジャズミュージシャンによる生演奏などを実施

- ・主 催：「1 DAY JAZZ ROAD」実行委員会
- ・開 催 日：令和7年11月頃（予定）
- ・場 所：ミュージアムロード周辺（県立美術館、JR灘駅北側広場、横尾忠則現代美術館、BBプラザ）



【兵庫津 JAZZ LIVE】



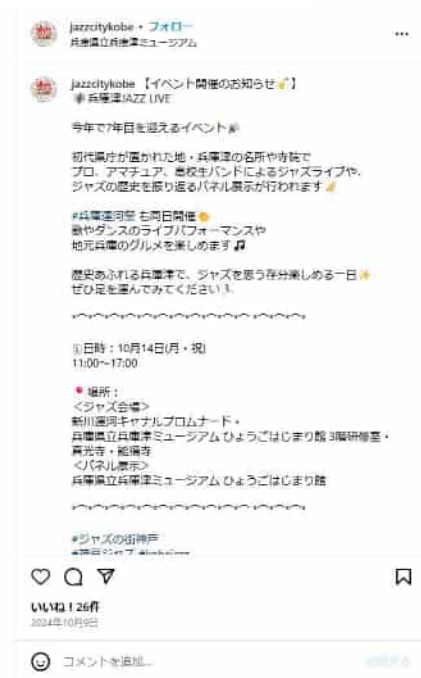
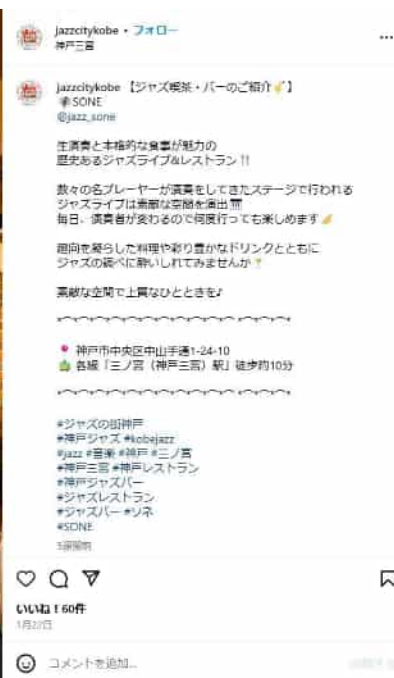
【1 DAY JAZZ ROAD】



② 神戸ジャズプロモーション事業への参画 [500千円]

神戸市や観光・宿泊施設等と連携し、市内各地で開催されるジャズライブ情報を発信することにより、ジャズファンの神戸への誘客と滞在型ツーリズムの振興を図る。

- ・主 催：神戸ジャズ旅実行委員会
- ・R6事業：神戸のジャズイベントや店舗情報のSNS等による発信



【R6年度 SNSでの記事発信】



(2) ミュージアムロード連絡調整会議の設置等

【新】 (2,763千円)

ミュージアムロード関係者間の連携強化及び効果的に情報発信する仕組みを構築し、地域の活性化や沿道のさらなる賑わいを創出する。

① ミュージアムロード連絡調整会議の設置等

ミュージアムロード関係者（県、神戸市、沿道の企業、地元住民団体等）が、沿道の活性化に向けた課題等を協議する会議体を設置（年2回程度開催）

② ミュージアムロードポータルサイト（ホームページ）の作成

沿道の野外アート作品、美術館等の施設やイベント情報を紹介するホームページを作成

③ 野外オブジェ等への二次元コード掲示によるホームページへの誘導

上記ホームページ内の野外アート作品の紹介ページにリンクする二次元コードが印字されたプレートを作成し、野外アート作品の銘板等に掲示

④ ガイドツアー

沿道のパブリックアート作品等を専門家のガイド付きでめぐるツアーを実施



【ミュージアムロード沿道の賑わい】



(3) 神戸新開地・喜楽館を核とした地域の賑わい創出

【拡】 (2,600千円)

新開地の賑わいと交流の拠点となる神戸新開地・喜楽館を将来にわたり支える客層を育成し、利用促進につながる取組を支援する。

① 新開地120周年記念寄席の開催【新】 [1,500千円]

新開地誕生120周年の節目である年に、新開地にゆかりのある施設や場所で行前寄席を開催

- ・開催日：令和7年11月1日（土）、2日（日）、12月2日（火）
- ・場 所：新開地周辺、神戸酒心館

② 県民寄席の開催 [500千円]

阪神・淡路大震災など、神戸ゆかりのテーマ設定による企画性の高い寄席を開催

- ・開催日：令和8年1月頃

③ 親子落語鑑賞会の開催 [600千円]

伝統芸の体験やファン育成のため、県内の小中学生の親子を昼席に招待

- ・開催日：令和7年夏



【震災復興ウィーク】



歴史遺産を生かした賑わいづくり

(1) 日本遺産の利活用 (300千円)

日本遺産に認定された灘五郷や北前船寄港地・兵庫津をはじめとした神戸の歴史を学ぶ機会の提供により、まちの賑わいづくりの推進や歴史遺産の周知を図る。

○ 神戸ゆかりの日本遺産等を楽しく学ぶ講座

- ・開催日：令和7年12月2日（火）
- ・場所：神戸酒心館
- ・内容：日本遺産に関する講演会

灘の日本酒に関する講演会及び落語会
（落語会は新開地120周年記念寄席の
アウトリーチとして実施）

- ・R6事業：～北前船と昆布～海の道がつなぐ味と文化～

- ・日時：2月11日（火・祝）
- ・講師：座学：加藤貞仁（歴史紀行作家）
- ・実演：（一社）兵庫栄養振興会
- ・会場：神戸生活創造センター
- ・参加者数：42人



(2) 摩耶山の治山遺構と観光振興 (3,100千円)

摩耶山の治山遺構と既存の観光施設^{※1}とを結びつけ、観光振興とあわせて山の保全の重要性を学び防災意識の向上を図る。

※1 摩耶ケーブル・旧摩耶観光ホテル・摩耶ロープウェー・掬星台

① 現地案内ツアーの開催【第8次FP認定】【拡】

内 容：旧摩耶観光ホテルと治山遺構のガイド付きツアー
方 法：摩耶山観光の既存ツアーと公民連携して実施
開催回数： 4 回 開催予定9月・11月(2回)・12月
募集人数： 80 名 (R6実績 2回 40名)

② 施設・ソフト整備

内 容：林内ルート整備・リーフレット作成・治山施設評価検討会の設置 ほか

神戸にマヤ遺跡?!“廃墟の女王”&治山遺構探検

旧摩耶観光ホテル×治山遺構ツーリズム

2021年に国有形文化財に登録されたマヤカンこと「旧摩耶観光ホテル」は、年月のまに朽ちる印象的な姿から「廃墟の女王」と呼ばれています。そしてその南斜面には、昭和13年阪神大水害の復旧工事で施工した水路工などの治山施設が現存しているんです。観光と治山遺構、ガイドさんの案内で昭和の摩耶さんへタイムスリップ！普段見ることができない特別な場所に足を踏み入れてみませんか？



KOBE FIELD PAVILION
こうべフィールドパビリオン

QRコードからツアー予約サイトへ

(3)未来へ繋ぐ『こうべ水の恵み』～淡山疏水の偉業を伝える～ (900千円)

「世界かんがい施設遺産」の一つである淡山疏水関連施設を次世代を担う小中学生が現地で巡り、学習会や学校授業を併せて行うことで、農業水利施設や地域農業への関心を高める。

未来に繋ぐ水プロジェクト

市内小学校を対象に郷土学習授業を支援

- ・ 対 象：神戸市内の淡山疏水に関係のある地域の小学校3、4年生
- ・ 実施予定時期：令和7年10月～11月
- ・ 参加者：R3年度 6校(214人)
R4年度 6校(183人)
R5年度 4校(137人)
R6年度 5校(153人)
R7年度 8校(200人)



令和6年度の開催状況については
「ひょうごため池保全県民運動」
HPにて公開しています。

【HPアドレス】 <https://www.hyogo-tameike.com/>



【練部屋分水所（神戸市西区）】

親子で学ぶ「淡山疏水」

一般公募の親子を対象とする現地学習会の開催を支援

- ・ 対 象：主に神戸市内に在住する
小中学生と保護者
- ・ 実施予定時期：令和7年8月頃
- ・ 参加者：R4年度 12組 (30人)
R5年度 6組 (17人)
R6年度 12組 (28人)
R7年度 (35人)

(4)「湊川新開地」誕生120周年記念事業の開催 **【新】** (1,170千円)

新湊川への付替えによって新たに整備された「湊川新開地」のまち開きから120年を迎えることから、地域と協働で記念事業を実施する。

①記念講演会の開催

県が管理する湊川隧道と湊川新開地のまちの歴史を振り返り、未来を展望することでまちの魅力をPRする。

- ・開催日：令和7年11月24日（月・祝）
- ・場 所：みなとがわホール

②写真パネル展の実施

湊川・新開地の移り変わりなどがわかる写真を展示し歴史を振り返る。

- ・開催日：秋頃
- ・場 所：新開地アートひろばギャラリー

③新開地120周年記念寄席の開催（再）



【劇場や映画館が立ち並ぶ湊川新開地】
出典：絵はがき ハヶ代信行氏提供



(5)次代につなぐ湊川隧道の利活用 **【拡】** (6,560千円)

地域の文化を継承する近代土木遺産である湊川隧道の保存・活用事業を展開することにより、歴史的価値を次世代へ繋ぐ取り組みを推進する。

① 湊川隧道の保存・活用事業 [6,560千円]

ア 定期一般公開

- ・開催日：毎月第1・3土曜日 13:00～15:00

第1土曜日：参加者へ適宜説明

第3土曜日：隧道説明会とミニコンサート等を実施



【隧道説明会(第3土曜日)】

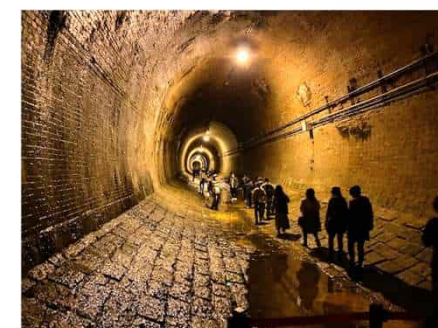


【適宜説明(第1土曜日)】

イ 「土木の日」新湊川ウォーク ～湊川隧道通り抜け～

ボランティア団体や地元の商店街等と連携して開催

- ・開催日：土木の日（11月18日）前後の休日
- ・コース：約1.7km 長田橋（長田区）～湊川隧道（兵庫区）
- ・参加者数：R6年度 2,298名（募集3,000名 応募8,185名）



【「土木の日」新湊川ウォーク】



【湊川隧道】

明治34年(1901年)竣工。日本で初めての近代河川トンネル

平成23年 土木学会選奨土木遺産に選出

平成31年 国登録有形文化財に登録

② 地元企業・地域団体と連携した湊川隧道の保存・活用事業【拡】

県、地元企業、地域団体が連携協定を締結し、湊川隧道での日本酒の貯蔵、及び販売、P R 活動等を本格実施することにより、貴重な近代土木遺産である湊川隧道の保存・活用を図り、地域の活性化を推進。

ア 協定先

(株)神戸酒心館、早駒運輸(株)、湊川隧道保存
友の会、神戸県民センター

イ 貯蔵酒

- ・ 日本酒名：隧 ZUI
- ・ 貯蔵期間：約半年間



【湊川隧道での日本酒貯蔵】



【貯蔵酒「隧 ZUI」】



(6)明治期の神戸三大土木事業・歴史遺産の魅力発信

【新】 (10,000千円)

三大土木遺産を所管する県と神戸市が連携し、一体的に発信、受入態勢を整備することで、シビックプライドの醸成と地域の賑わい創出を図るとともに、土木・建築職の担い手確保に資する事業を展開する。

明治期の神戸三大土木事業・歴史遺産

明治期の神戸三大土木事業として、上水道事業、港湾修築、湊川付替工事があげられるが、それらを現在に伝える歴史遺産が烏原貯水池・立ヶ畑堰堤、兵庫運河・兵庫津、湊川隧道である。これらは湊川付替により誕生した新開地のまちを囲むように近接している。

①三大土木遺産の連携強化

- ・「明治期神戸三大土木遺産連携会議」の設置

②三大土木遺産魅力発信事業

ア 神戸の礎を築いた「三大土木遺産のパネル展示」

パネル・動画等を用いて、三大土木遺産の意義を伝えるとともに、湊川隧道貯蔵酒など関連グッズの販売スペースを併設
・場 所：兵庫津ミュージアム等（計3回）

イ インフルエンサーと巡る三大土木遺産見学ツアーの開催

烏原貯水池を起点に湊川隧道、新開地、兵庫津をインフルエンサーと解説付きで巡り、参加者もSNSで発信する体験ツアーを開催

ウ ウェブサイトのリニューアル

湊川隧道公式ウェブサイトの多言語化、スマホ対応等



【立ヶ畑堰堤取水塔】



③ 三大土木遺産を活用した担い手育成事業

ア 子ども向け夏休みワークショップ

三大土木遺産の見学や土木構造物作成体験など
近代土木遺産や建設業の魅力を体験するイベントを開催

イ 湊川隧道子ども向けリーフレットの作成



【湊川隧道での見学校外学習】



II 山海の自然に囲まれたみなとまち神戸の活力づくり

1 自然と共生するまちづくり

- (1)六甲山ビジターセンターの管理運営
- (2)環境学習等を通じた自然体験の機会の提供
- (3)六甲山の情報発信・イベントの開催



六甲山ガイドハウス

2 活力を生むまちづくり

- (1)新たな賑わいの創出と周遊促進
 - ・神戸のフィールドパビリオン魅力発信事業の展開
 - ・ひょうご楽市楽座への参画
 - ・地域活性化支援事業（神戸の魅力づくり事業）
- (2)地域産業の振興
- (3)雇用対策の推進



こうべフィールドパビリオン特設サイト



自然と共生するまちづくり

(1)六甲山ビジターセンターの管理運営 【拡】 (8,187千円)

ハイカー等への情報発信・博物展示施設として設置した六甲山ビジターセンター・ガイドハウスの管理運営を通じて、六甲山の自然環境保全と活性化に取り組む。

区分	ビジターセンター(本館)		ガイドハウス(分館)
設置	昭和50年7月 県自然課設置 (H15～神戸県民局へ所管替え) 平成30年リニューアル工事 ※名称を六甲山自然保護センターから ビジターセンターに変更		平成17年4月 神戸県民局設置 令和3年3月 リニューアル工事
床面積	427㎡		75㎡
機能	六甲山に係る展示・環境学習、研修室貸出 六甲山自然体験シアター(R2設置) 4面サウンド映像で8コースの紹介		六甲山に関する情報提供 自然探索ツアーの開催 (※土・日・祝のみ実施)
開館時間	通常期 4/1～7/19	10:00～15:00 ※土・日・祝は10:00～16:00	9:30～16:00 ※土・日・祝も同時間
	夏期 9/1～11/30		
	冬期 7/20～8/31	10:00～15:00 ※金・土・日・祝のみ開館	9:30～17:00 ※土・日・祝も同時間
	12/1～3/31		10:00～15:00 ※土・日・祝も同時間

○休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始：12/27～1/5

12/1～3/31の間、ビジターセンターは月～木曜日休館（祝日除く）

○山の案内人

施設案内や展示物の解説、自然探索ツアーを実施

○コーディネーター

六甲山の魅力を発信する企画展や観光情報を提供

○外国人レポーター

六甲山の自然や見どころ、イベント情報等を英語で発信



① パネル展示等 [172千円]

パネル・標本の展示、六甲山自然体験シアター、デジタルサイネージなどによって、六甲山の自然やハイキングコース等についての情報を発信



【季節ごとの企画展示】



【六甲山自然体験シアター】



【デジタルサイネージ】

② トレッキングに役立つタイムリーな情報発信

- ・ビジターセンターにライブカメラを設置し、山上のリアルタイムの風景をホームページで発信
- ・デジタルサイネージを活用し、トレッキング関連情報を発信
- ・SNSで眺望や草花など六甲山の魅力を発信



【自然探索ハイキング】

③ 六甲山ビジターセンターインバウンド等対応事業【新】 [1,000千円]

インバウンド等に対応するため、看板等のコンテンツやリーフレットを作成し、2025年大阪・関西万博開催時における新たな六甲山全体の活性化を図る。

- ・インバウンド対応の看板・サイネージ（英語表記）
- ・リーフレット（日本語・英語表記）



【ビジターセンターライブ配信映像】



(2)環境学習等を通じた自然体験の機会の提供 **【拡】** (1,340千円)

六甲ビジターセンター等を拠点とする環境学習への支援を通じて県民の環境保護意識の醸成を図る。

○ 環境学習への支援等

環境学習プログラム

六甲山ビジターセンター等を活用して、自然豊かなフィールドを活かした体験型の環境学習プログラムを実施する団体を支援

- ・ 募集時期： 4/10（木）～5/2（金）
- ・ 補助率：定額（上限80千円または40千円以内）
※80千円コースのみ、活動場所への移動経費を要する場合は、30千円を上限に増額可
- ・ 対象団体：**80千円コース** … 一般に広く参加者を募集し、環境学習プログラムを実施する団体（例：六甲山で活動する団体）
40千円コース … 団体の会員のみで、講師等を招き、環境学習プログラムを受講する団体（例：子ども会、ボーイスカウト、児童館で募集したグループ）
- ・ 採択件数：年間 8 件（R6補助件数）



【環境学習】



(3)六甲山の情報発信・イベントの開催

【拡】 (5,268千円)

自然体験と観光ニーズの双方を満たす六甲山の魅力を広く発信するため、情報発信やイベント開催などの事業を展開する。

① ビジターセンターの活動支援 [520千円]

自然豊かな六甲山の拠点施設である六甲山ビジターセンターを活用して、環境学習や自然とのふれあい体験イベント、企画展併設イベント等を、季節・対象・テーマを変えて年2回程度実施

【第1回】・体験イベント：7月頃予定

＜六甲山に生息するチョウの生態を学ぶイベント＞

・企画展：7月頃予定

【第2回】・体験イベント：10月頃予定

＜六甲山上で野鳥観察イベント＞

・企画展：10月頃予定

② ビジターセンターの広報強化 [198千円]

「山と渓谷オンライン」にバナー広告を掲載し、六甲山ビジターセンターHPへ誘導して、来訪者増を目指す。

・対象：HP訪問ユーザー 150万人/8月（年間最高月）

（参考）R7.1バナー広告からのアクセス件数：886件

【山と渓谷オンラインとは】

山と渓谷社が2010年にスタートした「登山情報サイト」で、山登り初心者から登山経験豊富なベテランまで、あらゆる登山者のニーズに対応したサイト。



【R6企画展】



【R6 イベントの様子】



【R6バナー画像】

③ 六甲山周年イベント事業 **【新】** [1,000千円]

令和7年は、「六甲山開拓130年」、「六甲山ビジターセンター開設50周年」及び「六甲山ガイドハウス開設20周年」の年であることから、六甲山の更なる活性化を図るために賑わいづくりイベント等を開催

	六甲山開拓130年	六甲山ビジターセンター開設50周年 六甲山ガイドハウス開設20周年
時 期	6月頃（グルーム祭※と同時開催）	県民センター主催イベント開催時
場 所	県立六甲山ビジターセンター	県立六甲山ビジターセンター
内 容	賑わいづくりイベントの開催 ・山上施設のブース出展や キッチンカー出店の誘致 等	ビジターセンター企画展の屋外開催等 ・ビジターセンターや環境活動団体 の活動紹介ブース設置 等

※グルーム祭は、六甲山の夏山シーズンの安全を祈願する夏山開きイベント。



④ 神戸六甲ミーツ・アートbeyond 作品の設置 [1,000千円]

ビジターセンターへの集客を図るため、神戸六甲ミーツ・アート作品を展示

- ・時 期：令和7年8月23日（土）～11月30日（日）
- ・展 示：2作品



【R6ビジターセンター作品】

⑤ 神戸六甲ミーツ・アート beyond ガイドツアー事業 [1,000千円]

六甲山上で毎年秋に開催される現代アートの芸術祭「神戸六甲ミーツ・アート beyond」の会期中に作品展示会場を説明ガイド付きで巡るツアーを開催

- ・時 期：会期中に3回実施（予定）
- ・内 容：ビジターセンターを含む複数の展示会場をガイド付きで巡る。
- ・対 象：中学生以上（20名×3回）



【R6ガイドツアー】



⑥ 六甲山プロモーション支援 [1,550千円]

ア 六甲山の魅力についての情報発信を強化するプロモーション事業を支援

- ・ 内 容：広報誌やWeb媒体への出稿等による広報事業
六甲山上の看板整備
近代化産業遺産の名建築や風の教会等を巡るガイド
ツアーの実施
- ・ 実施団体：六甲摩耶観光推進協議会
- ・ 助 成 額：1,200千円



【名建築ガイドツアー】

イ 神戸六甲ミーツ・アートbeyondの優秀作品に『神戸県民センター長賞』を贈呈

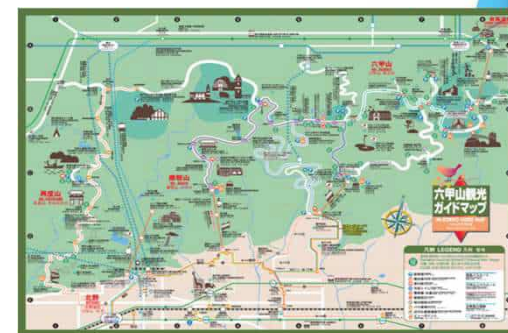
- ・ 内 容：兵庫県神戸県民センター長を授与
 《R6年度》
 アーティスト名：nl/rokko project
 作品名：「SYMBIOSIS：生命体の相互依存・共生戦略」
- ・ 助成額：200千円



【神戸県民センター長賞作品】

ウ 六甲摩耶観光推進協議会への参画

- ・ 内 容：山上事業者及び行政機関等で構成する六甲摩耶観光
推進協議会に参画し、パンフレット発行やイベント
等の開催を実施
- ・ 会費等：150千円



【六甲山観光ガイドマップ】



活力を生むまちづくり

(2) 新たな賑わいの創出と周遊促進 **【拡】** (11,830千円)

大阪・関西万博を契機としたフィールドパビリオンの周遊ルートの検討や観光資源の魅力発信、ナイトタイムエコノミー活性化の支援等を通じて、新たな賑わいの創出と周遊促進を図る。

① 神戸のフィールドパビリオン魅力発信事業の展開 **【拡】** [2,830千円]

大阪・関西万博に向けて、神戸市内の認定プログラムを体験するきっかけを創出し、神戸地域への誘客促進とシビックプライドの醸成を図る。

ア 神戸のフィールドパビリオン特設サイトとそれに連動するガイドの継続

- ・ R6年度に立ち上げたウェブサイトの維持管理と追加プログラム等の更新
- ・ 追加のメディアを用いた発信及びガイドマップ増刷 委託先(株)ラジオ関西

イ フィールドパビリオン等周遊ルート検討会の設置・運営 **【新】**

- ・ 県、神戸市、観光関係企業等をメンバーに、フィールドパビリオンや周辺観光施設を周遊するルート案を検討し、上記特設サイト等により周知を図る。

ウ フィールドパビリオン魅力向上による持続可能なコンテンツ育成 **【新】**

- ・ プレイヤーによるイの周遊ルートの体験等を通じ、アフター万博における持続可能なコンテンツ育成を図る。

② ひょうご楽市楽座への参画 **【拡】** [2,000千円]

万博会期中に設置する会場外駐車場（パークアンドライド方式）用地でひょうご各地のグルメなど様々な魅力を発信する「ひょうご楽市楽座」に参画し、グルメブース出展やステージイベントを通じ、神戸地域のPRを行なう。

〔神戸県民センター担当〕 8月30・31日、9月6・7日、10月4日・5日(予定)

- 《ひょうご楽市楽座の概要》
- ・ 開催時期：R7年4月～10月の間の土日
 - ・ 開催場所：尼崎フェニックス事業用地（尼崎市東海洋町沖地区）



③ 地域活性化支援事業（神戸の魅力づくり事業）【拡】 [7,000千円]

観光関連団体や地域団体等が実施する、地域の特色を活かし、神戸の魅力を発信する集客や交流イベント経費を助成。夜間・早朝に実施する事業を対象に支援する「ナイトタイムエコノミー枠」を新設

・助成率：1/2（助成上限：一般枠／500千円、ナイトタイムエコノミー枠／800千円）

実施団体について公募を実施（3/7～3/21）、審査会5月下旬(予定)

・R6実績：応募件数 15件（補助希望総額7,250千円）

採択数 15件（補助予定総額4,500千円）



【南京町春節祭】



【海の盆踊り】



(2) 地域産業の振興 **【拡】**

商店街活性化への支援や小規模事業者への経営指導等により、地域産業の振興を図る。

○ 商店街活性化への支援

ア 商店街ファンづくり応援事業 **【拡】**

商店街等が行う地域性・独自性をもったイベントなどを支援し、ファンづくりを応援集客につながるような新たな取組を支援

- ・補助率：定額
- ・補助上限：200千円（連合会は1,000千円）
※補助額：50千円の枠を追加
- ・R6認定団体：38団体（R5認定団体：41団体）

対象経費	補助額
1,500千円以上	@200千円
1,000～1,500千円未満	@150千円
500～1,000千円未満	@100千円
200～500千円未満	@50千円

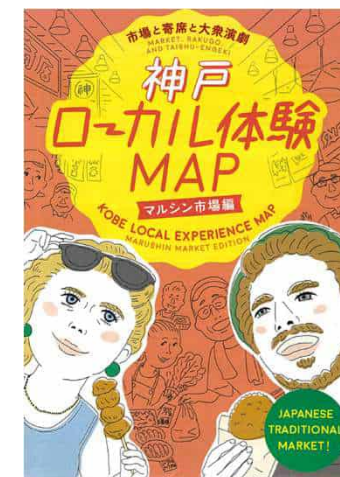


【宇治川音楽祭(宇治川市場商店街連合会)】

イ 商店街インバウンド支援事業

大阪・関西万博を見据えた外国人広報や外国人受入環境の整備やおもてなし企画実施を支援

- ・補助率：1／4以内
- ・補助上限：1,500千円
- ・R6認定団体：2団体／神戸元町商店街連合会、三ノ宮プラザ名店会（R5認定団体：3団体（うち2団体辞退）／丸神商業協同組合）



【令和5年度商店街インバウンド再開支援事業】
（丸神商業協同組合・マップ作成）



ウ 商店街空き店舗トライやる（チャレンジショップ応援事業）【新】

商店街などが空き店舗対策として実施するチャレンジショップの整備・運営を支援

- ・補助率：1/2
- ・補助上限：2,500千円

エ 商店街買い物アシスト事業【拡】

買い物弱者対策を進めるとともに新規顧客の獲得による商店街の活性化を図るため、ECサイトを活用した共同宅配、ご用聞き・共同宅配、移動販売、買い物送迎車の運行、高齢者等の買い物サポートを支援

※商店街等からの推薦を条件として補助対象者に法人を追加（R7～）

- ・補助期間：最長5年
- ・補助率：1/2以内(1～3年目)、1/3以内(4・5年目)
- ・補助上限：3,000千円(1～3年目)、2,000千円(4・5年目)
- ・R6認定団体：1団体／丸神商業協同組合（R3～：4年目）



【マルシン市場の共同宅配便チラシ
（丸神商業協同組合）】

(2)雇用対策の推進

職業訓練に対する支援や地域別労使団体等と連携したセミナーの開催など、雇用対策を推進する。

① 職業訓練に対する支援

職業訓練の内容の充実と、計画的・体系的な実施を促進するため、職業訓練コースの認定を行うとともに、中小企業等が実施する認定職業訓練の運営を支援
・ 認定団体：10団体（R6はうち4団体が休止）・補助申請2団体

② ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催

誰もがいきいきと働くことのできる「新しい働き方」を考えるセミナーを神戸地域雇用対策会議、ひょうご仕事と生活センターと連携し開催

・ 開催時期：令和7年秋頃（予定）

・ R6事業

講師：石井遼介（(株)ZENTech代表取締役）

演題：ヌルい職場は誤解！

心理的安全性が高く生産的な職場づくり

場所：私学会館

参加者数：155人

③ 商工会議所等と連携した就活支援事業の実施

求職者と企業のマッチングの機会を設け、中小企業の人材確保を図るとともにUターンを促進するため「兵庫県合同就職面接会」など就職説明会を開催



III 都市近接の強みを活かした農都・神戸の推進

1 農の神戸ブランドの創出

- (1) 農の神戸ブランド創出作戦
- (2) 地域の宝！「山田錦」ブランドの向上推進

2 未来につながる地域農業の持続・発展

- (1) アグリDX神戸モデルの推進
- (2) 農都・神戸のSDGs
肥料の地産地消「神戸コンポスト」の展開
- (3) 地域農業の振興
 - ・ 農都こうべ食農SDGs情報発信支援事業
 - ・ 神戸地域農業経営力強化事業
 - ・ 生産基盤の整備（農地の大区画化）
 - ・ 生産振興と地域協働活動等への支援



しんながた新鮮市



食農「SDGs体験型プログラム」
トライアルツアー



農の神戸ブランドの創出

(1) 農の神戸ブランド創出作戦 **【拡】** (1,950千円)

神戸産の認証食品の認知度向上とあわせて、生産・販売活動等を支援し、認証食品の生産・流通・消費を拡大し、地産地消の推進を図る。

① 認証食品認知度向上・販路拡大支援

商品 P R や魅力発信、認知度向上のための商品包装材等の作成及び販路拡大のための商談会等への参加、インターネット通販等への出展等に対して支援

・ 支援対象：認証食品生産者、直売所等

② 認証食品生産力強化支援

栽培技術研修会等開催、講習会参加、G A P の取得及び新たな栽培技術等導入、安定生産・品質向上に必要な資材等に対して支援

・ 支援対象：認証食品生産者

③ 認証食品定期販売の実施 **【拡】**

- ・ 神戸産認証食品等を新長田合同庁舎で定期販売（月 1 回程度：しんながた新鮮市）
- ・ 市内都市部等で販売実施（年 4 回程度予定）



神戸地域の主な認証食品（全267品目）

穀類	米
野菜	キャベツ、トマト、ほうれんそう、こまつな、みずな、しゅんぎく、ちんげんさい、いちご
果樹	ぶどう、なし、いちじく、かき
畜産物	豚肉
加工品	日本酒、みそ、ジャム、豆腐、ちりめん



(2)地域の宝！「山田錦」ブランドの向上推進 **【新】**（300千円）

山田錦の担い手・後継者の育成・確保とブランド力の向上とシビックプライドの醸成を図るため、山田錦日本農業遺産認定のPR活動、及び世界農業遺産申請に向けた検討及び準備を進める。

- ・ 内 容：①北播磨「山田錦」語り部養成講座の開催等
②語り部による出前授業、生産者等への講習会の実施
③世界農業遺産申請に向けた調査・検討
④日本農業遺産認定記念シンポジウム開催
⑤イベントでの農業遺産認定等のPR活動
- ・ 実施主体：兵庫県山田錦主産地農業遺産推進協議会



【日本農業遺産認定申請にかかる現地調査】
(令和6年10月4日)



未来につながる地域農業の持続・発展

(1) アグリDX神戸モデルの推進 **【拡】** (1,650千円)

地域の農業従事者の高齢化や労働力不足に対応するため、AI、IoT等の先端技術を活用したスマート農業の普及を進め、地域特産物の維持、拡大を図る。

① スマート農業技術導入による集落営農組織等の強化 [350千円]

ア イネカメムシ対策実証ほ

集落の広範囲において、ドローンを活用した一斉防除を行う技術を実証し、イネカメムシによる被害の軽減と特産山田錦の高品質化と省力化を図る。

イ スマート農業技術研修会



【吸汁するイネカメム】

② スマート農業技術導入による特産品の生産力強化 [800千円]

ア 神戸市西区の葉物野菜

気象ロボットで測定した施設内環境（気温、湿度、照度等）に応じて、遮熱資材利用や灌水方法改善による施設内の高温化を回避する技術を確立し、生産の安定化を図る。



【気象ロボットによる環境測定】



イ 神戸市北区の早生黒枝豆

ドローン防除、生分解マルチの機械被覆、さや取り機械を利用した体系的なスマート農業技術を実証し、生産の拡大を図る。



【ドローン活用による防除技術の実証】

ウ 神戸市北区の加工品（みそ）

特産のみそ生産において、アシストスーツの活用や作業工程の改善等による軽労化を実証することにより、生産の効率化と安定化を図る。



【アシストスーツによる軽労化（腰部）】

③ スマート畜産技術導入による経営の強化 **【新】** [500千円]

牛の状態をモニタリングし、発情発見と授精時期を知らせるシステムの利用を現場で実証することにより、子牛の生産効率の向上を図る。



【牛の状態をモニタリングするシステム（イメージ）】



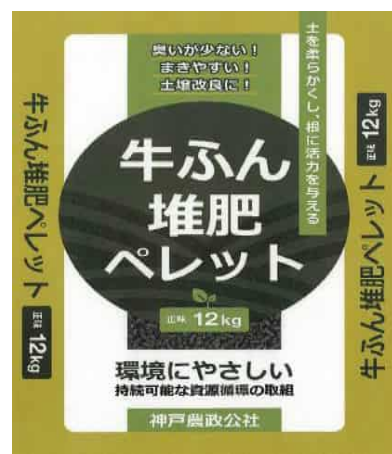
(2) 農都・神戸のSDGs 肥料の地産地消「神戸コンポスト」の展開 (800千円)

家畜堆肥など神戸の豊富な地域資源を活用した肥料の開発や供給体制を構築することにより、安定的で持続的な肥料の確保と化学肥料の使用低減を進め、資源循環型農業の確立を図る。

○ 地域内資源フル活用による資源循環型農業モデルの確立

○ペレット堆肥の安定生産技術の確立

○資源循環型農業モデル実証ほの設置

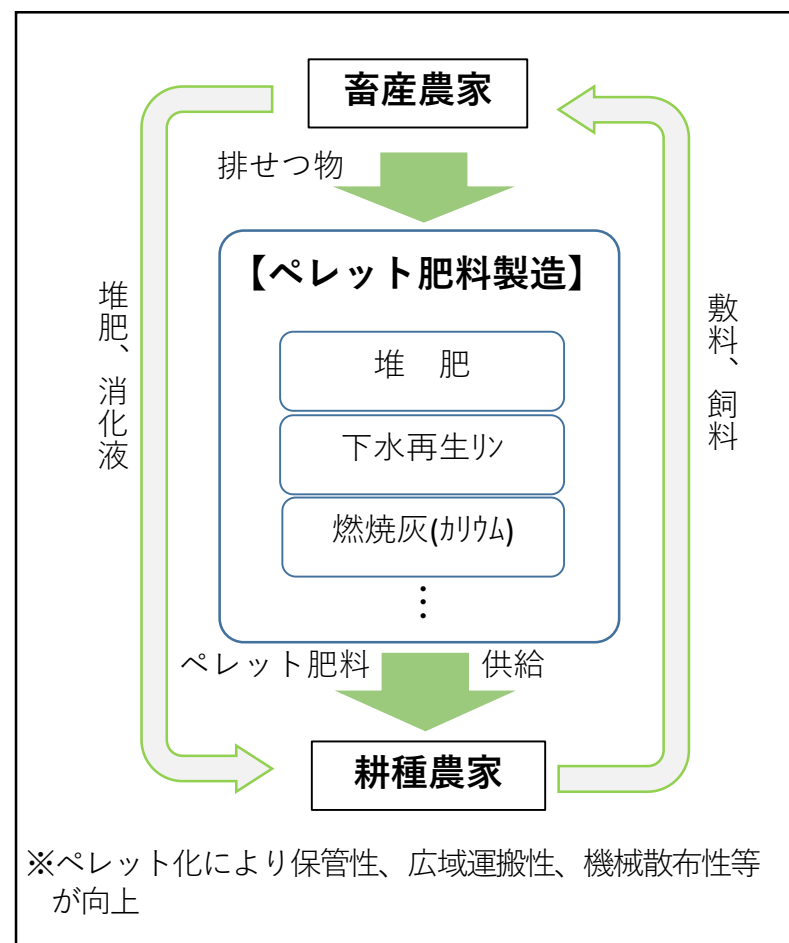


農家用12kg



家庭用 1 kg

JA兵庫六甲ほかで販売中



(3) 地域農業の振興 (76,200千円)

神戸地域の農業経営力強化や生産基盤の整備、観光農業のレベル向上等により、地域農業を振興を図る。

① 農都こうべ食農SDGs情報発信支援事業 [1,000千円]

食農「SDGs体験型プログラム」トライアルツアー

神戸地域の農業に関する「SDGs体験型プログラム」の認定に向け、交流受入体制を整え、モニター参加者による体験を試行、神戸の農業について情報発信する。

また、参加者ニーズや受入体制の課題などを観光農園運営者へ情報提供し、観光農業のレベル向上につなげる。

- ・ 実施内容：トライアルツアーの実施（農業体験等3か所程度）
ラジオ・SNS等による情報発信、アンケート調査
- ・ 事業期間：令和6～7年度

② 神戸地域農業経営力強化事業 [200千円]

神戸市西区特産のいちじくの新規栽培者を対象に、接ぎ木苗やマルチを駆使した栽培技術の習得と少量パックでの販売を促進することにより、いちじくの安定生産を推進

- ・ 目標：生産量340トン



【スイートコーン収穫体験】



③ 生産基盤の整備（農地の大区画化） [75,000千円]

井吹南地区（神戸市西区伊川谷町）において
農事組合法人による効率的・安定的な営農
を促進するために、ほ場整備事業を実施

- ・ 受益面積：12.4ha
- ・ 主要作物：水稻
飼料作物
スイートコーン
ブロッコリーなど
- ・ 事業工期：令和6～11年度
- ・ 令和7年度事業内容：実施設計ほか



④ 生産振興と地域協働活動等への支援

野菜等の産地競争力を強化するための取組や農村生活インフラの保全、地域協働活動に対して支援

ア 生産振興への支援

事業名	地区名	事業内容
農業施設貸与事業	北区、西区	パイプハウス・設備・機械等整備
ひょうご施設園芸産地競争力強化対策事業	北区、西区	パイプハウス・環境制御機器等整備

イ 地域協働活動等への支援

事業名	地区名	事業内容
多面的機能支払交付金	北区、西区	農地維持支払、資源向上支払
中山間地域等直接支払交付金	北区	農業生産活動、多面的機能増進



IV 安全・安心に包まれたまちづくり

1 災害に強い安全・安心なまちづくり

(1) 災害に強い社会基盤の整備

- ・ 土砂災害対策の推進
- ・ 大雨による洪水被害の防止
- ・ 山地災害の防止
- ・ 災害に強い農村づくり・森づくりの推進

(2) 鳥獣被害対策の推進

(3) 防災・減災意識の向上

- ・ 「六甲山の災害と治山の歴史展」の開催
- ・ 摩耶山の治山遺構と観光振興（再）
- ・ 地域住民による河川ふれあい活動への支援
- ・ 河川の安全対策の推進



(一) 加古川水系淡河川（北区）
河川改修状況



(砂) 蛇谷川（北区）
溪流保全工完成

2 暮らしの安全・安心の確保

(1) 地域ぐるみ安全対策の推進

(2) 次代を担う子ども・青少年の育成



都市山防災林整備



災害に強い安全・安心なまちづくり

(1) 災害に強い社会基盤の整備

頻発する集中豪雨や六甲山系における自然災害に備え、河川整備や山地防災、土砂災害対策など、危険箇所の整備事業等を実施する。

① 土砂災害対策の推進

第4次山地防災・土砂災害対策計画に基づき、がけ崩れや土石流から人命、財産を守るため、砂防堰堤や急傾斜地崩壊対策など土砂災害対策を推進

事業名	区	地区名	事業内容	工期
通常砂防事業(グリーンベルト整備事業)	垂水区	塩屋谷ブロック	堰堤工	H30～R7
通常砂防事業	北区	愛宕川	堰堤工	R3～R8
急傾斜地崩壊対策事業	東灘区	荒神山地区	調査・設計	R6～R10
県単事業(急傾斜)	兵庫区	会下山(1)地区	用地測量	R5～R8
県単事業(急傾斜)	長田区	大日丘(3)地区	用地測量	R3～R9
急傾斜地崩壊対策事業	須磨区	不計地区	崩壊土砂防護柵工	R5～R8
急傾斜地崩壊対策事業	北区	有馬(3)地区	調査・設計	R6～R10



(砂) 八多川 (北区)
堰堤工完成



(急) 鈴蘭台北町(3)地区 (北区)
法枠工完成

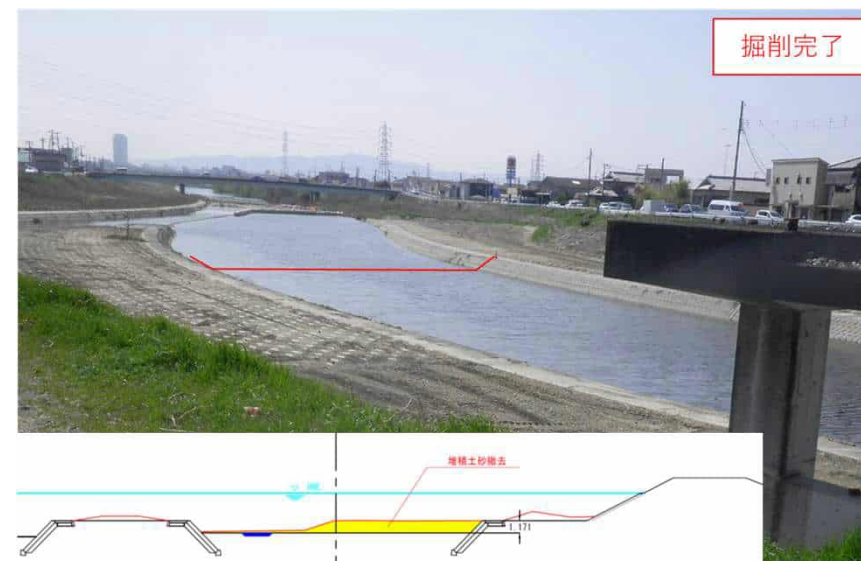
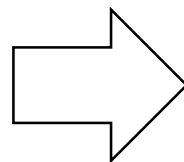
② 大雨による洪水被害の防止

大雨による洪水被害を防止するため、河川の拡幅、護岸の整備、堆積土砂撤去による河川整備や、洪水予報のための機器更新を推進

事業名	区	河川名	事業内容	工期
総合流域防災事業	北区	(二) 淡河川	護岸工	H27～R8
河川緊急自然災害防止対策事業	垂水区	(二) 山田川	高潮対策	R6～
河川緊急浚渫推進事業	西区	(二) 明石川	堆積土砂撤去	R1～
(緊災) 機能保全対策	監視局・雨量局・水位局等		情報基盤更新	R5～R6



堆積土砂撤去



(二) 明石川 堆積土砂撤去状況



③ 山地災害の防止

急峻な地形と脆弱な地質を有する六甲山と、市街地に近接している斜面地における山地災害を防止するため、治山ダム工・山腹工などに加え既設治山工事の補修・機能強化工事を実施する。

事業名	地区名	計画期間 (年度)	全体計画	実施済	令和7年度計画
復旧治山事業	〔極楽茶屋〕 灘区六甲山町北六甲	R3～R8	治山ダム2基・集水井1基 山腹工1式・測量調査1式	治山ダム2基 集水井1式 測量調査1式	山腹工(圧縮補強土工法)1式 観測調査1式
	〔水無山〕 北区有馬町唐櫃	H30～R7	治山ダム6基	治山ダム4基	治山ダム2基
予防治山事業	〔外大裏〕 西区伊川谷町小寺	R3～R7	治山ダム2基 地山補強土工1式 落石防止工1式	治山ダム2基 地山補強土工1式	地山補強土工1式 落石防止工1式
	〔篠原北町〕 灘区篠原北町3丁目	R7	地山補強土工1式	—	地山補強土工1式
山地災害重点地域 総合対策事業	〔住吉山手5〕 神戸市域	R3～R12	治山ダム11基・法枠工1式 航空レーザ測量 解析1式・測量調査1式	航空レーザ測量 解析1式	地山補強土工1式 調査1式
治山施設機能強化	〔住吉山手6〕 東灘区住吉山手6丁目	R6～R9	調査(既設法枠工・アンカー工 健全度調査、対策工検討調査)、 施設機能強化工事1式	—	調査1式
	〔明神町3〕 須磨区明神町3丁目	R6～R9	調査(既設法枠工・アンカー工 健全度調査、対策工検討調査)、 施設機能強化工事1式	—	調査1式 施設機能強化工事 1式
県単独事業	〔横谷〕 北区有野町六甲山	R6～R7	治山ダム2基	—	治山ダム2基



【治山ダム(施工中) 水無山】



【地山補強土工 外大裏】



【アンカー頭部浮き状況 明神町】

④ 災害に強い農村づくりの推進

耐震性不足や老朽化の進んだため池、地すべり防止施設について、改修工事等を実施。不要な農業用ため池を廃止（市営）

事業名	区	地区名	事業内容
ため池改修工事	北区	西谷池	堤体改修 1式 (R元～R7)
		頓行司池	堤体改修 1式 (R3～R9)
		サザ池	堤体改修 1式 (R3～R9)
		狩俣池	堤体改修 1式 (R5～R8)
		下三尊谷池(2池)	実施設計 1式 (R6～R12)
	西区	2号池	堤体改修 1式 (R元～R7)
		4号池	堤体改修 1式 (R元～R7)
		天狗池	堤体改修 1式 (R3～R8)
		岩岡町甲 7 号池	堤体改修 1式 (R4～R10)
		長谷佃井地区(3池)	実施設計 1式 (R5～R11)
地すべり対策工事	北区	神戸	集水井補修等1式 (R2～R7)

兵庫県防災工事推進計画（ため池の改修・廃止計画）

ため池工事推進計画〔前期（R3～R7）〕

県営事業：改修工事 17箇所予定（うち着手済17箇所）

市営事業：廃止工事 11箇所予定（うち着手済11箇所）



【農村地域防災減災事業 尻池地区
（西区押部谷町西盛 R6完成）】



【地すべり対策事業 神戸地区
（北区淡河町北畑 集水井）】

⑤ 災害に強い森づくりの推進

森林の防災面の機能強化を図るため、都市山「六甲山」や集落裏山の里山、奥山を対象に間伐木を利用した土留工の設置、危険木伐採等の森林整備を実施

事業名	地区名	事業内容	R6まで実績	R7計画	第4期対策全体計画 (R3-R7)
緊急防災林整備（斜面对策）	北区	間伐木を利用した土留工の設置	31ha	10ha	50ha
緊急防災林整備（渓流対策）	北区	森林整備（間伐）等	1箇所	1箇所	2箇所
野生動物共生林整備	北区	基本計画調査 ※整備造成1箇所	3箇所	1箇所	2箇所
里山防災林整備	北区	基本計画調査 ※整備造成1箇所	3箇所	2箇所	3箇所
都市山防災林整備 （※対象：六甲山系）	北区	基本計画調査間伐、土留工設置、危険木伐採	16箇所	4箇所	20箇所

※は R6基本計画調査箇所



【緊急防災林整備（斜面对策） 北区】



【都市山防災林整備 北区】



【野生動物共生林整備 北区】



(2) 鳥獣被害対策の推進

イノシシ等による人身生活被害と農作物被害の軽減を図るため、防護、捕獲、普及啓発を柱に総合的な被害対策を推進する。

① 六甲山イノシシ等の被害対策

イノシシ等による市街地での生活環境被害等に対応するため、防護、捕獲、普及啓発を柱とする総合的な対策を実施

ア 防護対策の実施

人身被害等の緊急事態に備えるとともに、農作物被害の軽減を図るため電気柵・金網柵の設置を推進

・イノシシ等緊急対策協力員の配備

人身に危害を及ぼす等の緊急事態に対処する緊急対策協力員の配備に要する経費を支援

《実施主体》神戸市（市町振興支援交付金 特交50%＋交付金25%補助）

・電気柵・金網柵の設置

《事業主体》神戸市（国庫80%補助）

項 目	R1	R2	R3	R4	R5
イノシシ農業被害額 千円	4,549	5,813	4,929	4,547	4,693
人身被害（負傷） 件数	8（4）	2（2）	6(7)	1(1)	4(4)



【イノシシ（風吹岩）】



【電気柵維持管理研修】



イ 有害捕獲の推進

六甲山系のイノシシ生息密度を効果的に減少させるための出産期(5月～6月)の捕獲や被害の大きい水稻生育期での積極的な捕獲を支援

- ・生活環境被害 ≪実施主体≫神戸市（市町振興支援交付金 特交50% + 交付金25%補助）
- ・農林業被害 ≪実施主体≫神戸市（国庫補助）

項 目	R1	R2	R3	R4	R5
猟期外の イノシ捕獲頭数	530	704	622	362	496

ウ 普及啓発の実施

イノシシを誘引することとなるゴミ出しマナーの改善や餌付け禁止の注意喚起を広報紙やパネル展示等による啓発

○県民だよりひょうごで啓発

② アライグマ被害対策の実施

農業被害や生活環境被害に対して、捕獲わな購入にかかる経費を支援し被害の軽減を図る。

③ 六甲山におけるニホンジカ対策

六甲山系に属する市(神戸市・芦屋市・西宮市・宝塚市)、近隣市町(三田市・川西市・猪名川町及び三木市)や県、国によるニホンジカの生息状況・対策実施状況等の情報を共有



【軒下から現れるアライグマ】



【シカによる下層植生の食害】



(3)防災・減災意識の向上 (3,990千円)

六甲山系の山地災害や治山の歴史展や、河川のふれあい活動への支援、河川の安全対策の推進等により、防災・減災意識の向上を図る。

① 六甲山の災害と治山の歴史展 [1,720千円]

ア 六甲山の治山対策展 [震災30年関連イベントとして開催]

六甲山系の山地災害復旧等、治山事業の取り組みをパネル展示で紹介

- ・ 開催時期：令和7年6月11日～7月10日
- ・ 場 所：六甲山ビジターセンター
- ・ 来 場 者：R5:591名、R6:904名、R7:1,500名(目標)

イ 六甲山の災害展 [震災30年関連イベントとして開催]

六甲山系の土砂災害とその復旧記録をパネル展示や映像放映で紹介するとともに、土石流実験装置等の実演を実施

- ・ 開催時期：令和7年8月予定(2週間)
- ・ 場 所：人と防災未来センター
- ・ 来 場 者：R5:1,457名、R6:2,584名、R7:3,000名(目標)

ウ 現地見学会 [六甲山の治山の歴史を訪ねるツアー]

再度山(林業遺産に認定)の森林散策を通じ、明治時代の石積や治山施設・植生について森林インストラクターとともに説明

- ・ 開催時期：令和7年11月予定
- ・ 開催場所：再度公園周辺
- ・ 参加者：R5:32名、R6:34名、R7:40名(募集人数)

② 摩耶山の治山遺構と観光振興(再)



【ビジターセンター来場者に向けたパネル展示】



【夏休み来場者に向けた耐震模型実験の実演】



【再度公園(林業遺産認定)での記念写真】

③ 地域住民による河川ふれあい活動への支援 [1,500千円]

地域の河川を舞台とする「まなぶ」「まもる」「ふれあう」といった活動を促すことで、河川への愛着を深め、良好な河川環境の保全につなげていくことを目的として、活動に必要な経費の一部を支援

- ・ 補助内容 : 河川環境の調査研究、河川に親しむための地域行事 など
- ・ 補助上限 : 200千円/団体
- ・ 支援団体数 : R6年度 9団体
- ・ 活動河川 : R6年度 住吉川、天王谷川、有馬川、櫛谷川 など8河川



【生き物調査（有馬川）】



【櫛谷川まつり】

R7年度予定	4～5月	申請受付
	6月	審査会、支援団体決定



④ 河川の安全対策の推進 [770千円]

ア 横断幕等

河川の安全利用を図るため、音声案内による増水警報システムや回転灯の運用基準を記載した横断幕等の設置により注意喚起

- 回転灯 : 都賀川、住吉川等13河川
- 啓発看板 : 22河川
- 横断幕 : 8河川



【安全対策の横断幕設置(都賀川)】



【BBQ自粛を求める横断幕設置(都賀川)】

イ 啓発ポスター

市内の小学生を対象に啓発ポスターを募集し、次年度のポスター図案として活用



【R7年度 ポスター図案】



【R6年度 表彰式(灘区民ホール)】

R7年度〔啓発ポスター〕

7月 啓発ポスター募集

10月 受賞者発表、表彰式



【R6年度 川の安全利用啓発ポスター
(R5年度応募作品を使用)】

くらしの安全・安心の確保

(1) 地域ぐるみ安全対策の推進

地域での見守りを強化し、犯罪の抑止力向上を図るため、地域団体が行う防犯活動への支援など安全な地域づくりを推進する。

○ 地域安全まちづくり活動の推進

ア まちづくり防犯グループ

自治会等を中心とした地域団体で自主的に防犯活動に取り組むグループを「まちづくり防犯グループ」として本庁において登録

- ・登録状況：神戸市内296グループ・全県 1,845グループ（R7.2現在）

イ 地域安全まちづくり推進員

まちづくり防犯グループの連携・協働を円滑に推進するため、各グループに地域安全まちづくり推進員を設置

- ・登録状況：神戸市内 349人・全県 2,349人（R7.2現在）
- ・研 修 会：未定



【R6神戸地区地域安全まちづくり推進員研修会】



(2)次代を担う子ども・青少年の育成 (542千円)

地域団体の子育て応援ネットへの支援や青少年愛護活動の推進等、次代を担う子ども・青少年の健全育成事業を実施する。

① 地域子育て応援ネットの推進 [182千円]

地域の団体や住民がネットワークを組み、子育て家庭への声かけや見守り、子育て相談や子育てイベント等の子育て家庭応援運動を展開

虐待や育児不安、ひきこもりや問題行動に関わるSOSを見逃さずにキャッチして、関係機関につなぐ 子育て家庭への支援を関係機関とともに推進

ア 神戸地域子育てネットワーク活動助成補助事業

○交 付 先：神戸市婦人団体協議会 ○助 成 額：112千円

○助成内容：啓発資材の作成・配布に必要な経費

イ SOSキャッチ専門研修の開催

○委 託 先：神戸市婦人団体協議会 ○委託金額：70千円

○研修内容：未定

② 地域・家庭の伝統行事等普及推進 [360千円]

家庭の絆や、家族と地域の関係性を深めるため、地域や家庭における伝統行事の普及啓発をはじめとした家庭づくりに関する事業を女性団体とともに推進
(行事实施回数：10回程度)

③ 青少年愛護活動の推進

(公財)兵庫県青少年本部との連携のもと、青少年の健全な育成を図るため、青少年愛護活動推進員を配置し、地域の青少年を取り巻く環境の実態把握を実施

青少年愛護条例の周知徹底に向けて対象事業者等への指導を行い、青少年の非行防止や環境浄化活動を推進



【R6 SOSキャッチ専門研修】



【R6地域・家庭の伝統行事等普及推進補助事業】



V 対話と協働に基づく住み続けたい地域づくり

1 対話と協働による地域づくり

- (1) 県民との対話促進
- (2) 地域と連携した元気づくり
 - ・ 行政と地域の連携による新長田の賑わいづくり
 - ・ 神戸のフィールドパビリオン魅力発信事業の展開（再）
 - ・ 地域と連携した賑わいづくり



新長田合同庁舎 5 周年イベント

2 地域づくり・生活創造の推進

- (1) 神戸地域ビジョン2050の推進
- (2) 県民の活動支援
 - ・ 地域活性化支援事業（広域的地域活動推進事業）
 - ・ 地域活性化支援事業（神戸の魅力づくり事業）（再）
 - ・ 実践活動の顕彰
- (3) 神戸生活創造センターの運営



神戸生活創造センター



対話と協働による地域づくり

(1) 県民との対話促進 (1,800千円)

地域住民との対話と協働を一層進めることにより、多種多様な地域課題の解決に向けた取組を推進する。

① 知事と神戸市民が語る集い「こうべ県政ミーティング」 [1,500千円]

知事との直接対話を通じて、神戸市民が県政への理解を深め、県政への参画を一層促進することを目的として、主要な市民団体との意見交換会を開催

団 体	日 程		団体参加者数	
	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度
青年会議所	8/29	8/18	約200人	170人
老人クラブ	開催見送り	9/22	—	74人
自治会	開催見送り	10/17	—	54人
婦人会	開催見送り	12/18	—	168人



【こうべ県政ミーティング】

② 各区地域団体リーダーとの意見交換会「県政懇話会」 [300千円]

神戸市民に県政情報を提供し、地域の意見・要望等をふまえた県政を進めるため、各区ごとに地域団体のリーダーとの意見交換会を開催

・ R6年度：全9回（各区1回）を5～7月に開催

計100人が参加（各自治会、婦人会、老人クラブのリーダー等）



【県政懇話会】



(2)地域と連携した元気づくり **【拡】** (36,835千円)

行政と地域の連携による新長田の賑わいづくりや、地域イベントへの参画、地域が主体となる活動の情報発信等を通じて地域と連携した賑わいづくりを推進する。

① 行政と地域の連携による新長田の賑わいづくり [355千円]

ア 「新長田合同庁舎地域連携会議」の開催

- ・ 構 成 員 : 合同庁舎入居機関、地域まちづくり会社、
地域団体（自治会・婦人会）等
- ・ 開催実績：計13回開催（R1.9月～）

イ 「新長田合同庁舎地域連携会議」による取組

《主な取り組み》

- ・ 庁舎職員、地域団体による「共同クリーン作戦」
- ・ 入居機関の若者職員が地域連携やまちの活性化に資する活動に取り組む「新長田合同庁舎若者職員プロジェクトチーム」
- ・ 新長田合同庁舎職員・キャンパスプラザ学生向けに新長田の魅力を発信し、地域との交流機会に繋がる企画を実施（R7～）

《その他の取組》

- ・ フードドライブの実施
- ・ しんながた新鮮市（再掲）
- ・ 新長田みらいフェスの開催（R6年度）



【若者職員プロジェクトチーム企画の災害食のワークショップ】



【新長田みらいフェス】



② 神戸のフィールドパビリオン魅力発信事業の展開（再） **【拡】**

③ 地域と連携した賑わいづくり [36,480千円]

ア 第52回神戸まつりへの支援 [1,180千円]

神戸まつりへ支援し、県政情報を広く発信して県政への関心と理解を向上

- ・開催時期：令和7年5月18日（日）
- ・R6参加者：15.7万人（メインフェスティバル）

イ Kobe Love Portみなとまつりへの支援 [300千円]

神戸のまちの発展と市民の交流を願い開催される「みなとまつり」を支援

- ・開催時期：令和7年7月26日(土)、27日(日)
- ・R6参加者：約87,000人

ウ 神戸ルミナリエの開催支援 [35,000千円]

都市の復興・再生への夢と希望を託して開催される神戸ルミナリエを支援

- ・開催時期：令和8年1月(予定)
- ・開催場所：東遊園地、メリケンパークほか
- ・R6参加者：約245万人



【第51回 神戸まつり】



【令和6年度神戸ルミナリエ】



地域づくり・生活創造の推進

(1) 神戸地域ビジョン2050の推進 (1,570千円)

神戸地域で活動する団体が行う地域資源や地域の特性等を活用した取組を支援することにより、神戸地域ビジョン 2050 の実現を図る。

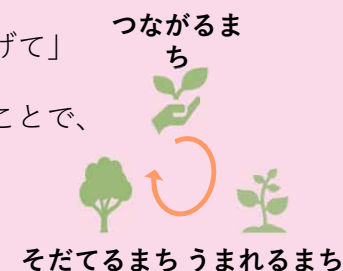
① 神戸地域ビジョン推進事業

神戸地域で活動する団体が行う地域資源や地域の特性等を活用した取組の支援

- ・ 対象団体：神戸地域内を活動基盤とし、地域に根ざした活動を行う団体、または活動を始めようとする団体
- ・ 対象事業：神戸地域ビジョン2050に掲げる「みんなの希望にフィットするまち・神戸」の実現に資する取組
- ・ 対象経費：事業実施に直接必要な経費
- ・ 補助金額：200千円以内
- ・ R6申請状況：13件（R5年度実績：6件）

みんなの希望にフィットするまち・神戸

神戸の人や資源を「つなげて」
新しいものを「うみだし」
それを「そだてて」いくことで、
希望に寄り添い、
包み込むまちをめざす



② 地域の多様な主体との連携

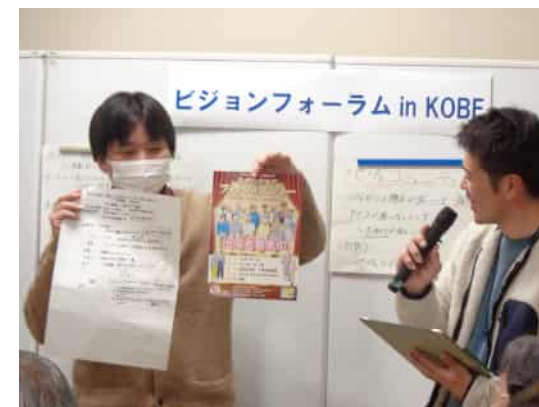
ア ビジョンフォーラム in KOBE の開催

県民が地域の未来を語り合い考える場として、ビジョンフォーラムを開催

- ・ 開催日：令和8年2月頃

イ ビジョンの啓発、情報発信

神戸地域ビジョン2050のパンフレット等を活用し、ビジョンの県民への浸透を図る



【R6ビジョンフォーラム】

(2) 県民活動の支援 **【拡】** (2,980千円)

地域団体が実施する交流活動や集客・交流イベントなどの取組に対して支援を行うことにより、コミュニティの強化や地域の活性化を推進する。

① 広域的地域活動推進事業 [2,400千円]

地域団体の創意工夫による地域特性を活かした交流活動などの取組に対して助成を行うことにより、コミュニティの強化や地域の活性化を推進

- ・ 募集期間：3月19日（水）～2月27日（金）
- ・ 助成件数：R6年度 8件（予定）（R5年度実績：6件）



【<活動の様子>
すずらんフェスタ(神戸市北区連合婦人会)】

項 目	内 容
対象団体	神戸市内の地域団体で、区の連合組織または区の連合組織によって構成される市域全体で広域的に活動を行う団体 【例】〇〇区自治会連合会、〇〇区連合婦人会 等
対象事業	地域課題の解決に向けたコミュニティの強化や地域の活性化に資するイベント等の取組 【例】・ 地域住民と外国人との多文化交流イベント ・ 高齢者を対象とした筋力アップ体操 ・ 地域の子どもによる楽器演奏・合唱発表文化祭
対象経費	イベント開催に必要な経費
補助金額	30万円以内（補助率：定額）

② 地域活性化支援事業（神戸の魅力づくり事業）（再）【拡】

③ 実践活動の顕彰 [580千円]

地域づくり等に貢献した個人・団体や、善行を行った個人・団体を表彰する。

R6実績

自治賞	こうのとり賞	くすのき賞	のじぎく賞	ともしびの賞
61人	25人	8 団体	1 人	3 人



(2)神戸生活創造センターの運営 (46,323千円)

生涯学習・地域づくり活動などで、豊かな生活を創造するための県民による主体的な活動支援の拠点施設として、指定管理者制度により神戸生活創造センターの運営を行う。

- ・ 指定管理者：大阪ガスビジネスクリエイト（株）（令和7～11年度）
- ・ 利用状況　： 来場者数 R5：123,187名　R6：120,446名
稼働率（有料施設）R5：49.7％　R6：50.6％

【施設概要】

項 目	概 要
開 館 時 間	月～土 9:00～21:00 日・祝 9:00～17:30
休 館 日	毎月第3水曜日、年末年始
主 な 施 設	多目的フリースペース、図書・資料コーナー、保育コーナー、グループ活動ブース、 <u>スタジオ</u> 、 <u>講座研修室</u> 、 <u>調理室</u> 、印刷・製本室、ロッカー、 <u>展示ギャラリー</u> 下線部は有料施設
事 業 内 容	管理運営・調整業務、情報・交流支援、相談・学習、活動支援





Hyogo
Prefecture

